

# L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 動作確認テスト・サンプルファイル

情報リテラシ TA

平成 28 年 9 月 5 日

# 第1章 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>Xの世界にようこそ！

## 1.1 インストール成功！

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>Xの世界にようこそ！この文章が「dviout」というソフトで閲覧できていれば、インストールに成功しています。

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X（ラテフ）もしくはT<sub>E</sub>X（テフ）は、組版処理を行うソフトウェアです。数学者・コンピュータ科学者のドナルド・クヌース氏によって作られました。

このソフトを使うと、きれいな文章の作成ができます。実際に出版の現場でも使われているそうです。数学者が作ったということもあって、特に数式の出力がきれいにできるのが特徴です。

$$\lim_{x \rightarrow 1} \left( \frac{2}{x-1} - \frac{x+5}{x^3-1} \right), \quad \int_0^{\pi} \cos^2(x) dx$$

2つの数式が、きちんと表示されていますか？複雑な数式が入った文章も、きれいに出力することができます。

## 1.2 基本手順

では、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>Xで文章を作る際の、基本的な手順をここに示します。

1. ソースファイルをTeraPadなどのエディタで作成する。

ソース（素）となるファイルを作成します。これにはエディタと呼ばれるソフトを使います。この地点では文章の形にはなっていません。

2. ソースファイルをコンパイルして、dviファイルを作成する。

パソコンに変換を命令して、先ほどつくったソースファイルをdviファイルに変換、文章の形にして確認します。

3. dviファイルができたことを確認したら、PDFに変換する。

dvi形式は、あまり一般的ではありません。そこで、Adobe Readerなどで閲覧ができるPDF形式に変換します。